

令和6年度(2024年度)
第69回全国里親大会ふくい大会
東海・北陸ブロック里親連絡協議会ふくい研修大会
開催要項

1. 大会テーマ「広がり里親の輪、応援します子どもの育ち」

2. 開催趣旨

令和5年度のこども家庭庁設置、今年度の改正児童福祉法施行など、近年、児童福祉をめぐる環境はめまぐるしく変化しています。「こどもまんなか社会」として、子どもの権利・子どもの意見が尊重される中、これまであまり注目されてこなかった社会的養護下にある子どもたちについても目が向けられるようになってきました。また、令和2年度に各都道府県の社会的養護推進計画が策定され今年で5年目を迎え、里親リクルート活動の活性化や積極的なマッチングの成果により新規里親登録者や里親委託率は増加傾向にあります。

しかし、里親が抱える不安や課題はまだまだ残されており、未委託里親が増えていることも問題となっています。このような中だからこそ、里親同士がつながりを大切にし、関係機関などとともに支え合いながら、子どもたちにとって最善の福祉となるよう、適切な養育を目指していく必要があると考えています。

今年3月に北陸新幹線が延伸し、福井県に念願の新幹線が開通しました。福井県と他の地域とのつながりが一層強まるこの年に全国里親大会を開催できることをとてもうれしく思っています。今回の大会が、里親が抱える様々な課題に対し、里親同士、また関係機関とともに支え合える場となり、多くの子どもたちの幸せにつながることを願っています。

2. 主催

こども家庭庁、福井県、公益財団法人全国里親会、東海・北陸ブロック里親連絡協議会、福井県里親会

3. 共催

あわら市、坂井市、福井県社会的養護施設協議会、福井県家庭養護推進ネットワーク福さと

4. 後援

公益財団法人資生堂子ども財団、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、一般社団法人日本ファミリーホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会

公益社団法人福井県観光連盟、一般財団法人三谷文化振興財団、公益財団法人ふくしん地域振興協力基金、社会福祉法人福井県社会福祉協議会

5. 開催期日

令和6年10月12日(土)～13日(日)

6. 会場

みくに未来ホール(福井県坂井市三国町中央一丁目5番1号 みくに市民センター内)
あわら温泉 清風荘(福井県あわら市温泉3丁目803)

7. 参加者および参加定員

里親、社会的養護施設関係者、里親支援関係者、里親制度に関心のある方、学生など
現地参加定員300名(先着順) / オンライン参加定員500名

8. オンライン視聴

参加申込された方は全員オンラインでの視聴が可能です。詳細は参加決定通知時にお知らせいたします。

①当日配信(リアルタイム配信)

- ・配信内容:1日目のプログラム(懇親会を除く)
- ・配信期間:10月12日(土)12:30~17:10
- ・配信方法:YouTube

②後日配信(オンデマンド配信)

- ・配信内容:基調講演、シンポジウム、分科会①~⑤
- ・配信期間:大会終了後から3カ月間

※参考

参加区分	定員	1日目			2日目		
		会場参加	リアルタイム配信	オンデマンド配信	会場参加	リアルタイム配信	オンデマンド配信
会場参加	300名 (先着順)	○	○	○	○	×	○
配信参加	500名	×	○	○	×	×	○

9. 参加申込等

「[第69回全国里親大会ふくい大会申込みフォーム](#)」より各自でお申込みください。

※大会参加費:5,000円(現地参加) / 4,000円(オンライン参加)

※参加申込期間:令和6年7月10日(水)~8月10日(土)

※子ども企画・託児、懇親会、宿泊等は別途参加費が必要です。

※上記リンクにアクセスできない場合は、「福井県里親会」ホームページの全国里親大会特設サイトからお申込みください。

10. プログラム

〈1日目・10月12日(土)〉

○会場:みくに未来ホール

10:00~11:30	全国会長会議
-------------	--------

時間	項目	内容
11:30~	受付	
12:30~13:30	開会式・式典	開会の辞、里親信条、挨拶、会長表彰、他
13:30~14:00	行政説明	「こども家庭庁と社会的養護をめぐる現状」(仮) こども家庭庁
14:00~14:10	休憩	

14:10~15:40	基調講演	<p>「子どもの脳を傷つけない子育て ～マルトリートメントによる脳への影響と回復アプローチ～」</p> <p>【講師】友田 明美氏 (福井大学 子どものこころの発達研究センター教授)</p> <p>私たち里親や養親が迎え入れる子どもたちの中には、対応に苦慮する子どもたちがいます。今日では、その背景に虐待をはじめとするマルトリートメント(不適切な養育)が一因として存在していることは、よく知られるようになってきました。では、マルトリートメントを受けることによって彼らの中では何が起きているのでしょうか。脳科学の視点から具体的に学び、目の前の子どもたちの理解につなげ、より良い養育のあり方を考えます。</p>
15:40~15:50	休憩	
15:50~17:10	シンポジウム	<p>「医療」×「福祉」社会で子どもを育てるとは ～「マルトリ予防」と「とも育て」～</p> <p>【コーディネーター】谷川 有希乃氏 【パネラー】友田 明美氏 (福井大学 子どものこころの発達研究センター教授)</p> <p>林 浩康氏 (日本女子大学人間社会学部教授)</p> <p>里子経験者 里親受託経験者</p> <p>私たち里親や養親が迎える子どもたちは、程度に差はあれどもマルトリートメント(マルトリ)環境の中での傷つきを抱えています。他者と適切な関係性を築くことに困難を示すことも多く、時に愛情深く迎えようとする大人たちもその対人パターンに巻き込まれ疲弊してしまうこともしばしばあります。</p> <p>マルトリとは、特別な家庭に限って起こることではなく、子どもを育てる環境においては誰もがそこに陥る危険性を孕んでいます。マルトリの背景に子育ての孤立化がないか、子育てを孤立させないために医療と福祉が連携してできる社会的仕組みについて考えます。</p>
17:10~	大会終了、移動	
17:10~17:30	ユースの会 (自由参加)	<p>「フォスターユースの会」活動報告</p> <p>※活動報告を行います。お時間の許されます方はご参加ください。</p> <p>「フォスターユースの会」とは、里親家庭、ファミリーホーム、児童養護施設等の社会的養護の下で育った当事者同士をつなぎ交流する中で、親睦を深め、当事者が体験した悩みや問題を社会へ発信していくことを目的とした会です。</p>

○会場:あわら温泉清風荘・大観

18:30~20:30	懇親会
-------------	-----

※会場ロビーにて、18:00より受付を開始します。

※会場ロビーに、お子様向けの遊具コーナーを設置しています。(託児はありません)

〈2日目・10月13日(日)〉

○会場:あわら温泉清風荘

時間	項目	内容
8:30~	受付(7Fロビー)	

9:00~10:30	分科会・第1ターム
	<p style="text-align: center;">「里親と里子を守るためには」</p> <p style="text-align: center;">【講師】佐野 みゆき氏 (野田記念法律事務所、東京弁護士会所属 弁護士)</p> <p>「里子のスマホゲームで高額請求。里親が払うのか？」など、養育をしていく上で迷うことがあったり、「里子の進路について、実親が里子にいろいろ言ってくる。従うべきなのか？」など、実親との関係でギクシャクしたり、里親の立場の弱さに戸惑ったり、法的にどうすべきなのか、里子、里親、実親にはどんな権利があるのかなど、モヤモヤに直面することがあります。そんなモヤモヤを少しでもスッキリできるように、専門の先生に教えてもらいましょう。本分科会では、佐野先生をアドバイザーとして、里親に関わる法律を勉強したいと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>本分科会に参加申込みされる方は、右記QRコードから、里親・里子の権利についてなど、知りたいことやご質問等を事前にお送りください。</p> <p>[受付期間:8月31日(土)まで] ※時間に限りがありますので、すべての質問に回答できない場合があることを予めご承知おきください。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>
	<p style="text-align: center;">「特別養子縁組家庭に『大切なこと』は何か」 ～近年の特別養子縁組制度や周辺環境の変化と、変わらない思い～</p> <p style="text-align: center;">【座長】林 浩康氏 (日本女子大学人間社会学部教授)</p> <p style="text-align: center;">【報告者】養子縁組当事者</p> <p>昭和62年に特別養子縁組が制度化されて今年で37年目です。近年は、パーマネンシー保障の観点などから新たなステージに入ったといえます。令和2年4月からは民法改正により、特別養子縁組の子の年齢条件が原則15歳未満となり、特別養子縁組の機会が拡大されました。また児童福祉法の改正や養子縁組のあっせん法ができるなど、関連法が新しくなりました。</p> <p>また、特別養子縁組の子どものアイデンティティを形成する大切なプロセスとして、出自を伝える「真実告知」の重要性の認知が以前より高まり、生い立ちについて考えるライフストーリーワークも注目されています。さらに、大人になった養子や養親からも多くの発信があり、特別養子縁組家庭への支援の必要性などの声も聞かれるなど、周辺環境も変化しつつあります。</p> <p>本分科会では、近年の特別養子縁組の制度や周辺環境を確認しながら、特別養子縁組家庭にとって、「大切なこと」は何かについて、特別養子縁組の当事者とともに考えていきます。</p>
<p style="text-align: center;">「ふくい型里親支援 里親支援の現状と今後の展望」</p> <p style="text-align: center;">【講師】橋本 達昌氏 (社会的養育総合支援センター「一陽」統括所長)</p> <p style="text-align: center;">【報告者】福井県フォスタリング機関職員、他</p> <p>新しい社会的養育ビジョンにおいて、家庭養育の推進が示され、里親の包括的支援を行う機関としてフォスタリング機関が位置づけられました。</p> <p>福井県においては、児童養護施設協議会や福井県里親会が加盟する福井県家庭養育推進ネットワークを創設し、県からフォスタリング事業の委託を受け、里親に対する包括的支援を担っています。</p> <p>本分科会では、福井県の里親支援の現状や取り組みについて各機関からの報告を受け、報告から見えてきた課題の整理を行います。里親としてフォ</p>	

		スタリング機関に求めることをグループワーク形式で議論し、今後の里親支援のあり方について参加者全員で考えていきたいと思います。
10:30~10:45	休憩・会場移動	
10:45~12:15	分科会・第2ターム	
	分科会④	<p>「子育ての社会資源としての『里親』の活用」 ～越前市のショートステイ里親モデルから今後の発展性を考える～</p> <p>【座 長】林 浩康氏 (日本女子大学人間社会学部教授)</p> <p>【報告者】ショートステイ経験里親、越前市担当者、他</p> <p>福井県では、近年里親リクルートが進み里親登録数が増え、里親への委託数が若干増加傾向です。しかし、何年も全く委託がないまま里親登録を継続している「未委託里親」も増加しています。これは全国的な傾向です。</p> <p>また、福井県の里親は、長期・短期の養育や養子縁組、委託一時保護の受け入れに加え、希望により、施設入所児童の季節・週末里親や、市町のショートステイ事業の担い手として児童養護施設や市町にも登録しています。</p> <p>越前市のショートステイ事業では、令和4年から保護者が子の預け先を施設と里親家庭から選択できるようになり、里親家庭での預かりの実績が伸びています。また、令和6年3月には、こども家庭庁から「子育て短期支援事業における里親等の活用に関する通知」が出され、地域の実情に応じて里親登録者を積極的に活用することが期待されています。</p> <p>本分科会では、越前市でのショートステイ里親モデルを共有しながら、子育ての社会資源としての里親活用の発展性について考えていきます。</p>
	分科会⑤	<p>「里子の自立支援 ～自立に向けたよりよい支援を考える～</p> <p>【講 師】伊藤 嘉余子氏 (大阪公立大学教育福祉学類教授)</p> <p>【報告者】元里子、他</p> <p>受託した里子の養育に携わることができる期間には限りがある中、里親のもとを離れる将来のことを視野に入れ、日々悩みながら養育をしている里親は少なくありません。</p> <p>一方の里子も、まだ親を頼りたい年齢で社会的養護のケアを離れざるを得ず、自立生活を送るうえで人一倍の不安と孤独を感じているところ です。</p> <p>本分科会では、講義や社会的養護経験者からの報告をとおして、社会的養護経験者の自立生活における困難さの実態や課題について考えます。現在養育中の里子の支援に関する悩みや不安をグループワークで共有し、講師や報告者と意見交換しながら里親が養育中にできる支援とは何かについて検討することを目指します。</p>
分科会⑥	<p>「聞いて話して、里親のきもち」 【コーディネーター】谷川 有希乃氏</p> <p>長く里親活動を続けている方、新たに里親として登録された方、委託を待っている方、マッチング中の方、特別養子縁組が成立した方、多くの里子を預かっている方、長期で受託している方、季節週末で委託を受けている方、一時保護に対応している方……。 「里親」といってもその状況は様々で、それぞれに喜びがあったり苦労があったりする中で、子どもたちのために心を込めて養育しておられることと思います。</p> <p>本分科会では、小グループに分かれて、お互いの経験やきもちを聞いて話して共有することで、これからの里親活動のエネルギーにしていきたいと思っています。子どもたちのように素直でピュアな心をもって、聞いて話しましょう。</p>	

12:15~12:30	休憩、移動	
12:30~12:45	閉会式、解散	大会のまとめ、次年開催挨拶、閉会の辞
12:45~15:00	ランチョンサロン (自由参加)	大会の後は、全国版里親サロンです！ 日ごろの悩みやエピソードを、お弁当を食べながら一緒におしゃべり しませんか？ 楽しく支え合える里親仲間を、全国に広げましょう！ ※お弁当は、申込みフォームからご注文ください。 ※託児はありません。お子さんも同席をお願いします。 ※時間内はオープンしています。入退は自由です。

※分科会については、第1タームの①~③から1つ、第2タームの④~⑥から1つを選び参加する。

11. 子ども企画・託児

①内容等

お子様の参加をご希望の場合は、別途お申し込みが必要です。

日時	対象児童	子ども企画	託児
		原則小学生以上	原則未就学児
10月12日(土) 11:30~17:10		福井県立恐竜博物館見学 (三国体育館から貸切バス利用)	三国体育館での託児 (みくに未来ホールから徒歩3分)
10月13日(日) 8:30~12:30		パネルシアターと腹話術ショー、 サイエンスショー、クラフト体験 (あわら温泉清風荘内)	あわら温泉清風荘内での託児

②参加費用

それぞれ1日あたり1,000円

12. お問い合わせ先

①大会・研究会内容等に関する問合せ先

全国里親大会ふくい大会実行委員会事務局

〒918-8105 福井市木田3丁目701

(福井児童相談所内) (担当:岩崎、松川、藤原)

TEL:080-8491-0447

E-mail:2024fukui.satooya.naconv@gmail.com

②参加申込・宿泊等に関する問い合わせ先

名鉄観光サービス(株)北陸支店(担当:銭田)

〒920-0919 金沢市南町5-20 中屋三井ビル2階

TEL:076-231-2126/FAX:076-223-1289

13. その他注意事項

- ・本大会におけるビデオ・カメラ、携帯電話等での許可なく撮影・録音することは固くお断りいたします。
- ・本大会における記録として事務局において、ビデオ・写真を撮影・録音させていただく場合があります。大会記録誌の作成以外の目的で使用はいたしませんので、ご了承ください。